

## シオンさんのアメリカ留学レポート②

### ○留学生生活を10ヶ月間全うできたなら・・・

世界を混乱の渦に巻き込むコロナウイルスの影響で6月までの予定だった留学から3ヵ月早い帰国となりました。周りの環境にもなれ、ラストスパートに向けてエンジンをかけて、その3ヵ月の中にプロムや卒業式、ディズニー旅行など楽しみにしていることも多くあったので正直悔しいです。また、まだまだ挑戦したかったことも多くあります。その一つとして、日本についての発信もっと早くからやっておけばよかったと思っています。授業の中で日本についてのプレゼンなどはやりましたが、アメリカの文化の多様性を感じ、英語力を習得することを優先してきたので、日本の発信を思うようにできませんでした。4月からは US ヒストリーの先生とジャパニーズクラブを作り日本の文化紹介をする計画を立てていた矢先の帰国だったので、それを成し遂げられなかったことが心残りです。苦しい期間も長かった留学生活でしたが、いざ帰国となるとまだまだやりたいこと、やり残したこともあります。7か月に切り上げられてしまった私の留学生活でしたが、19年間の私の人生の中でかけがえのない7か月になりました。また今回達成できなかったことは近い将来の目標にして頑張ります。

### ○これから留学を目指す人へのアドバイス

#### ①合格を勝ち取るための心構え

私は1年生の頃からこの県費留学に挑戦してきましたが、県費留学を勝ち取るために皆さんに必要なのは、留学に対する熱意と徹底的な準備です。英語力は？と思う人もいますが、それを含めての「準備」です。というのも、県費の一次試験は ELTiS といって、皆さんが普段受けているようなテストと形態が全く異なるのでどれだけ対策をして（問題に慣れて）本番を迎えられるかが大事だと思います。また、県の支援を受けていく留学事業なので、4Kをはじめとするライバルの志も高いです。その中で、留学に対し具体的な目標をもち、将来を見据え、「私をこの事業に採用しないと損するぞ！」くらいのアピールを面接官にできないと、狭き門に入ることはできません。私は実際に県費留学にいった先輩に話を聞きに行ったりして、とにかく情報を集めました。また提出する選考課題は、何十回も作文を書きなおして、何十回も志望理由のビデオを撮り直しました。面接も五人の先生と練習しました。「準備が必要」という意味がわかりましたか？この選考を乗り越えてこそいい留学生活が送れると思うので、これから挑戦する人は頑張ってください！！

#### ②合格を勝ち取った後の「準備」

実際に合格の内定をもらってから派遣国にもよりますが、出発まで約半年あります。この半年が留学生活の明暗を分ける勝負の期間だと思います。同級生との最後の時間を楽しむことも大事ですが、やはりこの半年でしっかり準備をして、「ベストな状態の自分」で留学に出発することが大事だと思います。例えば派遣国の言語の習得！私は普段はある程度 ALT の先生と英語で話はできていましたが、ネイティブの中に入ると全く聞けないし、喋れませんでした。どの留学生も言語の壁にはぶつかります。それでも日本でできるだけ力をつけていくことで、留学先で楽しい時間が増えると思います。また日本のことを英語で紹介できる知識量と英語力が必要だと思います。多くの人が留学生に対し、「日本の○○ってなんなの？」とか「日本のこれ教えて」などと尋ねてくることは多々あります。その時に「I don't know」と答えた時が一番変な顔されます。私たちが当たり前と思っていたことに対し、考えもしないような質問をされることもあります。私が会釈をしたのをみて友達に「日本人ってなんでそんなにぺこぺこしてるの？ダサい！」と言われ動揺しました。日本のすべてを網羅し英語で説明することは無

# 留学体験記

From 向陽高等学校 SSH通信 QUEST FOR TRUTH

No. 8

研究推進部  
国際交流係

2020.7.15

理ですが、日本からの留学生として、誇りと責任を持ち留学に出発するべきだと思います。

## ③最後に・・・待たずに「早めの挑戦」を！

この県費留学で初めて本格的に海外で生活するという人がほとんどだと思います。時につらく、日本に帰りたくなることもありました。しかし、高校での一年間の留学ってこの一回きりです。しかもこの経験をできる高校生はそう多くはありません。だからこそ、私がこれからの留学生にアドバイスできることは「早めの挑戦」をすることです。私もはじめは、とにかく英語を習得しよう、現地の生活に慣れようということ意識していました。しかしあつという間に時は過ぎ、まだやりたかったことも多く残したなか、このレポートを書いています。私は夏からミュージカルをやっつけばよかったと、そしたらもっと早くから友達もでき、楽しかったのにな…と今になって思います。日々新たな経験をし、何かに気づき考え、自身の成長につながります。何事も必要ならまずは言う、まずはやってみることから始めましょう。あとからやっつけばよかったということのないように、「早めの挑戦」の意味は伝わりましたか？もう一つはコミュニケーションをしっかりとることです。文化や習慣の違う人と外国語で生活するということは簡単ではありません。その中で、伝えるべきことを伝えられることが一番他人と良い関係を築くうえで大切だと思います。いろいろアドバイスをしましたが留学の形は十人十色！実際に行ってみて気づくこともあります。どのような環境でも試行錯誤しながら適応していく力が求められます。皆さんにとってもかけがえのない一年になると思うので、興味がある人はぜひ頑張って留学のチャンスをつかみ取ってください。応援しています！！読んでくれた方ありがとうございました。

シアトルの街並み



有名なガムウォール

